

富士見市障害者施策推進協議会 令和2年度第1回 会議録

開催日時	令和2年6月29日（月） 午前10時から11時30分
開催場所	富士見市民総合体育館 3階 多目的室
出席委員	小菅 賢一、田嶋 英行、朝倉 朋栄、阿部 和彦、木根渕 主子、 小寺 ひろ美、瀬尾 英樹、橋本 幸子、藤山 久代、古川 信行、 細野 浩一、三川 登喜子、山道 廣子、横山 創
事務局	障がい福祉課長 益子 俊之、副課長 水口 優花、係長 三浦 崇、 係長 谷沢 典子、主任 谷田 幸子、主任 池田 桃、主事 照井 駿
欠席委員	木内 一夫、小川憲司、齋藤 久美子、星野 好孝、
傍聴者	なし
会議概要	<p>1. 開会</p> <p>2. 新委員紹介 人事異動により、久米原委員に代わり小寺委員、川端委員に代わり阿部委員が就任。</p> <p>3. 会長あいさつ 緊急事態宣言が明け、出席委員のお変わりない様子に安心しているが、新型コロナウイルス感染症の流行により、経験をしたことのない事態となっている。感染拡大防止策として市でも行事等の開催ルールを設けたため、それに基づき、長時間の会議にならないようスピーディーな進行に努める。</p> <p>4. 議題 (1) 意見交換『新しい生活様式の実践に向けて』</p> <p>会 長 新型コロナウイルス感染症の拡大によりストレスフルな生活となっている。この数か月、困ったこと、今後の課題など共有したい。例えば、一人暮らしの障がい当事者が新型コロナウイルス感染症を罹った場合、ヘルパーは来てくれるのかどうかなどの議論があったが、委員の皆さんはどうか。</p> <p>委 員 マスクを着けるマークは見かけるため、マスクを着けられないマークを作成した。障がいには、マスクを着けられないさまざまな事情があることを理解してほしいという思いから作成した。</p> <p>委 員 新型コロナウイルス感染症の拡大防止を唱える防災無線を流しているようだが、よく聞こえないため防災ラジオがあったらいいと思う。</p> <p>委 員 緊急事態宣言からの自粛要請により、B型事業所の喫茶やカフェを営業できず、工賃の確保が問題となっている。また、近隣市の施設でクラスターが発生したが、自宅に帰せるか、支援をどうするか、十分な対応ができるのか課題が生じると思う。</p>

会 長	他県の入所施設でも集団感染が発生したと聞いており、職員体制をどうするかも重要な課題である。
委 員	家庭内に感染者がいる子供について、施設は受け入れなかったと聞いている。どの家庭も不安が残る。
委 員	市内で新型コロナウイルスが発生した場合、市のホームページで確認ができるが、今以上に詳細な情報発信があると、どこに注意したらよいかかわかると思う。個人情報の関係もあるとは思うが、現在の内容は中途半端と思う。
委 員	埼玉県は手話言語条例が制定されているにもかかわらず、県知事が新型コロナウイルス感染症の緊急記者会見を開いた際、予算不足により手話通訳者をつけない時期があったため、当事者はリアルタイムで情報を取得できなかった。後で、文章で発信するといわれたが、新聞等の情報はタイムラグがあるし、また、聴覚障がい者は文字が不得意な人がいるという障がいの特徴を理解していないようである。
委 員	特別支援学校については福祉避難所となっており、今後、行政との連携が課題となる。また、避難訓練が未実施なため不安がある。
委 員	国の方針では、福祉避難所は2次的な避難所としている。また、障がい者が避難所を知らないことが課題だと思う。
会 長	障がい者と防災については重要であり、権利擁護・コミュニケーション部会で議論を進めてほしい。県の機関である保健所では、新型コロナウイルスの情報発信についていかがか。
委 員	保健医療整備課で一括して情報管理している。保健所は市へ一定の情報発信をしており、その後は市による対応となる。
事務局	市では、県からもらった情報をホームページに掲載しており、その情報以上のことはわからないのが現状である。
(2) 報告事項	
事務局	中止となった令和元年度第3回目の会議で協議すべき案件については、資料による報告を行い、委員の皆さんから提出された意見をまとめた。
①第3期富士見市障がい者支援計画事業実施調査結果の検証	
資料にそって、事務局が説明。	
②富士見市障がい者基幹相談支援センターの運営について	
資料にそって、事務局が説明	
③令和元年度あいサポートイベントについて	
資料にそって、事務局が説明。	
(3) 協議事項	
①第5期富士見市障がい者支援計画の策定について	
資料にそって、事務局が説明。	
事務局	基礎資料となるアンケートを、障がいのある人約6,600人の半分の方々に無作為抽出で郵送するので、そのアンケート(案)に対してご意見を伺う。

委員	アンケートの対象者は、障害者手帳の所持者のみか。
事務局	障害者手帳のない方も含まれる。
委員	では、計画の内容の文章で、障害者手帳のあるなしに関わらずと加えた方がよい。大切な文言である。
委員	障害者手帳のない方は、どうやって抽出するか
事務局	自立支援医療の受給者など。
委員	介護保険の兼ね合いから65歳未満と65歳以上では受給できるサービスが異なるため、障害者手帳を何歳で取得したかの設問をいれてほしい。
委員	問15 医療的ケアについての設問では、医療的ケアを受けている人のみが、回答するようにしてほしい。受けていない人が回答すると、困っていない人の割合が多くなってしまう。
委員	災害時のことを拾えるアンケートにしてほしい。
委員	記入が不得意な人もいるため、オンラインアンケートはできないか
事務局	貴重なご意見として承る。今回の仕様には含まれていないため、次回の仕様に含めるよう検討したい。
委員	第4期計画の進捗状況や支給量の実績数値を委員に提供してほしい。第4期計画策定の際に行った団体ヒアリングを行う場合、同席可能なら教えてほしい。
会長	これまでの進捗状況や実績等のデータについては、まとめ次第、委員に提供する。団体ヒアリングはどなたでも参加できる。
	4. その他
事務局	今期のスケジュールは、今後、10月と2月を予定しているため、日程が決まり次第、お知らせする。次回の会議は、令和2年10月を予定。詳細は後日調整。
	5. 閉会